

睦

むつみ

伊東市立南中学校
第2学年 学年だより
第2号
令和2年 4月10日(金)

2年学年目標 「感謝の心」

当たり前になっていたことが、なかなか実行できないもどかしさを感じていることと思います。学校で、授業を行う、勉強をする、友だちと会話をする、仲間と活動する、部活動をする…等々、日々当たり前に行ってきたことができない状況です。ご家庭におきましても、制限されることが多く、ご苦労されていることと思います。



心配や悩みごとがあるときは、まずは身近な人に相談することが大切です。こんな時だからこそ、多くの人と支え合ってほしいと思います。



私は、今まで、たくさんの方にお世話になり、たくさんの方々に支えていただきました。自分では気づかなかった心遣いがたくさんあったのだと感じています。

一人ひとりが感謝の心を持って、支えてくれる人の思いを感じ取ることができれば、前向きに取り組むことができるようになったり、進んであいさつをすることができたり、何よりも、優しく接することができる人になっていくと思います。

今年度の学年目標は「感謝の心」としました。毎日、幸せを感じ、優しさ溢れる学校生活を送ってほしいと願っています。ご協力を宜しくお願いします。

休校中の学習

授業が行えないことで、生徒や保護者の方の不安も増していることと思います。現時点での学習のポイントを、以下のようにまとめました。予習で使用する教科書が必要な方は、学校でお渡しします。事前に学校へ電話をしてください。

教科	復習ポイント	予習ポイント
国語	<p>便覧に語句や漢字のページがあります。自分で使えるように、語句は意味だけでなく、用例(どんな場面でどのように使うかという例)も考えられると学習が深まります。</p> <p>漢字検定に向けた学習もおすすめてです。今年度第1回は7/10の予定です。漢字検定協会のHPも開いてみてください。参考になる問題なども載っています。ぜひ挑戦してください。</p>	<p>縦書きの文章自体、長い間触れていませんので、黙読の速さ、筆圧、書く力、読解力等、弱っている人が多いと思います。</p> <p>今新型コロナウイルス関係のニュースがあふれています。中には誤報もあるでしょう。新聞やネットニュース等を読んで要約(文章の内容を簡潔に伝えること)し、わかったことや自分の意見を書いてみましょう。1記事自学ノート1ページで完結させます。今だからできる学習です。</p>

教科	復習ポイント	予習ポイント
社会	<p>地理は、特にアジア・ヨーロッパ・南北アメリカを復習する。歴史は、大まかな時代の流れを、人物を中心として年表にまとめてみましょう。</p>	<p>2年生は日本の地理から学習が始まります。都道府県と県庁所在地の位置を地図帳で確認しておきましょう。</p> <p>また、日本の地形・気候について、白地図の日本のp.2、p.3を予習しましょう。</p>
数学	<p>1年生の教科書p.278～p.284に復習問題がありますので、やり方を確認しながら解いてみてください。</p>	<p>左記のp.278～p.280をやり方を確認しながら丁寧に解いて下さい。</p> <p>2年生は式の計算から学習が始まります。1年生の計算ができていることが前提になりますので、正負の数や文字式の計算問題を中心に学習を進めてください。</p>
理科	<p>1年生の教科書の単元末問題や「理科の学習」の本書、これまでのテストをもう一度解くなどしておきましょう。</p> <p>重要単語を覚えるのも大事ですが、光合成や呼吸の仕組み、固体液体気体の考え方、身近な物理現象の仕組み、火山や地震についての理解を深めることも大事です。</p> <p>計算問題等にも積極的にチャレンジしてください。本質をとらえて学習に取り組みましょう。</p>	<p>1学期は1年生の教科書の「地層の調査」から入ります。その後2年生の教科書「化学変化と原子・分子」に入ります。</p> <p>教科書の図や写真を参考にどんな実験をやって、どんなことを学ぶのかのイメージを持っておけると良いです。</p> <p>単元1の化学分野を1学期では主に学習するため、その学習内容に少しでも触れておいてください。</p>
英語	<p>1年生で学んだ英単語が「読める・言える・書ける・意味がわかる」状態になっているか、確認しましょう。「発音しながら書く」が覚えやすい方法です。</p> <p>1年生で学んだ英文法を理解できているか確認しましょう。教科書の【英語のしくみ】というページや、1年生のジョイフルワークに、英文法の解説がわかりやすく載っているので、参考にしましょう。</p>	<p>不規則変化動詞(現在形⇒過去形)を覚えられるように、「発音しながら書いて」練習しましょう。2年生教科書のp.145にあります。</p> <p>余力がある生徒は、まずは2年生教科書Program 3(1学期の進度目安です)までの内容に触れられる学習(教科書を読む、書いてみるなど)ができるとういことです。</p>